

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年2月25日 (2010.2.25)

【公表番号】特表2009-522377(P2009-522377A)

【公表日】平成21年6月11日 (2009.6.11)

【年通号数】公開・登録公報2009-023

【出願番号】特願2008-549685(P2008-549685)

【国際特許分類】

C 07 D 279/12 (2006.01)

A 61 K 31/54 (2006.01)

A 61 K 31/198 (2006.01)

C 07 D 417/12 (2006.01)

A 61 P 31/04 (2006.01)

A 61 P 29/00 (2006.01)

A 61 P 21/00 (2006.01)

A 61 P 25/00 (2006.01)

A 61 P 25/28 (2006.01)

A 61 P 25/16 (2006.01)

A 61 P 25/14 (2006.01)

A 61 P 9/00 (2006.01)

A 61 P 9/10 (2006.01)

A 61 P 19/02 (2006.01)

A 61 P 1/00 (2006.01)

A 61 P 9/12 (2006.01)

A 61 P 25/24 (2006.01)

A 61 P 25/22 (2006.01)

A 61 P 43/00 (2006.01)

A 61 P 35/00 (2006.01)

A 61 P 35/02 (2006.01)

【 F I 】

C 07 D 279/12 C S P

A 61 K 31/54

A 61 K 31/198

C 07 D 417/12

A 61 P 31/04

A 61 P 29/00

A 61 P 21/00

A 61 P 25/00

A 61 P 25/28

A 61 P 25/16

A 61 P 25/14

A 61 P 9/00

A 61 P 9/10

A 61 P 19/02

A 61 P 29/00 1 0 1

A 61 P 1/00

A 61 P 9/12

A 61 P 25/24

A 61 P 25/22

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/02

## 【手続補正書】

【提出日】平成22年1月8日(2010.1.8)

## 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

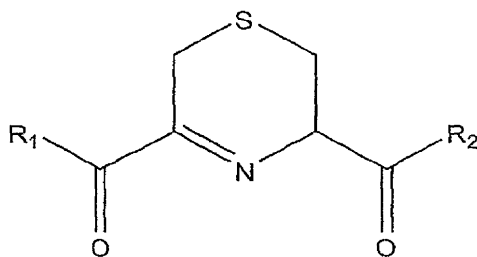
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記の構造を有する化合物、それらの薬学的に許容される塩、および光学異性体：



式中、 $R_1$  は、 $-OH$ 、 $-NH_2$ 、 $-OCH_3$ 、 $-OCH_2CH_2CH_3$ 、 $-OCH(CH_3)_2$ 、 $-OCH(CH_2)_2$ 、または  $C_2-C_{10}$ -アルケニルオキシ、 $C_2-C_{10}$ -アルキニルオキシ、 $C_1-C_{10}$ -アリールオキシ、 $C_2-C_{10}$ -アラルコキシ、 $C_1-C_{10}$ -アシルオキシ、 $C_1-C_{10}$ -アルキルアミノ、 $C_2-C_{10}$ -アルケニルアミノ、 $C_2-C_{10}$ -アルキニルアミノ、 $C_1-C_{10}$ -アリールアミノ、 $C_2-C_{10}$ -アラルキルアミノ、もしくは  $C_1-C_{10}$ -アミドのヘテロ原子置換型もしくは非置換型であり；

$R_2$  は、 $-OH$ 、 $-NH_2$ 、または  $C_2-C_{10}$ -アルコキシ、 $C_2-C_{10}$ -アルケニルオキシ、 $C_2-C_{10}$ -アルキニルオキシ、 $C_1-C_{10}$ -アリールオキシ、 $C_2-C_{10}$ -アラルコキシ、 $C_1-C_{10}$ -アシルオキシ、 $C_1-C_{10}$ -アルキルアミノ、 $C_2-C_{10}$ -アルケニルアミノ、 $C_2-C_{10}$ -アルキニルアミノ、 $C_1-C_{10}$ -アリールアミノ、 $C_2-C_{10}$ -アラルキルアミノ、もしくは  $C_1-C_{10}$ -アミドのヘテロ原子置換型もしくは非置換型であり；

但し、 $R_1$  および  $R_2$  は、両方とも  $-OH$  ではないことを条件とする。

【請求項 2】

$R_1$  が、 $-OCH_3$ 、 $-OCH_2CH_2CH_3$ 、 $-OCH(CH_3)_2$ 、または  $-OCH(CH_2)_2$  である、請求項1記載の化合物。

【請求項 3】

$R_2$  が、ヘテロ原子置換または非置換の  $C_2-C_{10}$ -アルコキシである、請求項1記載の化合物。

【請求項 4】

$R_1$  が、ヘテロ原子置換または非置換の  $C_2-C_{10}$ -アルケニルオキシである、請求項1記載の化合物。

【請求項 5】

$R_2$  が、ヘテロ原子置換または非置換の  $C_2-C_{10}$ -アルケニルオキシである、請求項1記載の化合物。

【請求項 6】

$R_1$  が、ヘテロ原子置換または非置換の  $C_1-C_{10}$ -アリールオキシである、請求項1記載の化合物。

【請求項 7】

$R_2$  が、ヘテロ原子置換または非置換の  $C_1-C_{10}$ -アリールオキシである、請求項1記載の化合物。

## 【請求項 8】

$R_1$  または  $R_2$  が  $-NH_2$  である、請求項1記載の化合物。

## 【請求項 9】

$R_1$  が、ヘテロ原子置換または非置換の  $C_1-C_{10}$ -アルキルアミノである、請求項1記載の化合物。

## 【請求項 10】

$R_2$  が、ヘテロ原子置換または非置換の  $C_1-C_{10}$ -アルキルアミノである、請求項1記載の化合物。

## 【請求項 11】

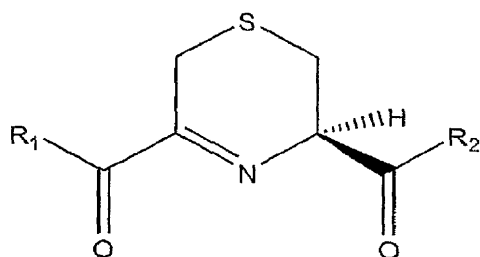
$R_1$  が、アスコルビル、デヒドロアスコルベート、グリシニル、およびセリニルからなる群より選択される、請求項1記載の化合物。

## 【請求項 12】

$R_2$  が、アスコルビル、デヒドロアスコルベート、グリシニル、およびセリニルからなる群より選択される、請求項1記載の化合物。

## 【請求項 13】

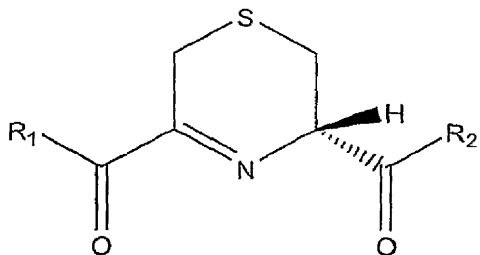
他の光学異性体を実質的に含まない下記式の化合物：



ならびにそれらの薬学的に許容される塩として更に規定される、請求項1記載の化合物。

## 【請求項 14】

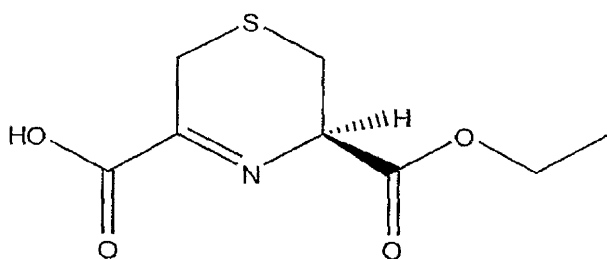
他の光学異性体を実質的に含まない下記式の化合物：



ならびにそれらの薬学的に許容される塩として更に規定される、請求項1記載の化合物。

## 【請求項 15】

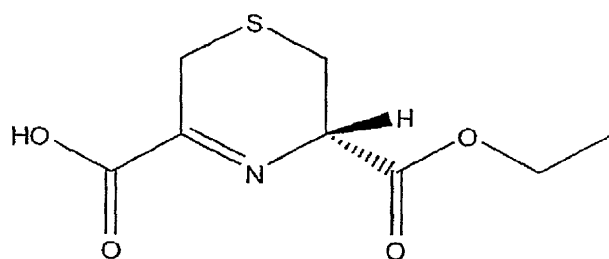
他の光学異性体を実質的に含まない下記式の化合物：



ならびにそれらの薬学的に許容される塩として更に規定される、請求項13記載の化合物。

## 【請求項 16】

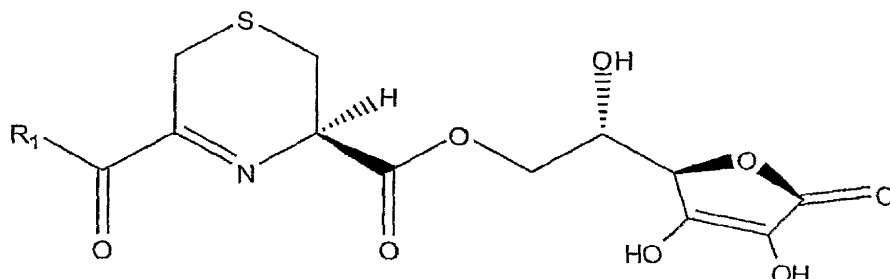
他の光学異性体を実質的に含まない下記式の化合物：



ならびにそれらの薬学的に許容される塩として更に規定される、請求項14記載の化合物。

【請求項17】

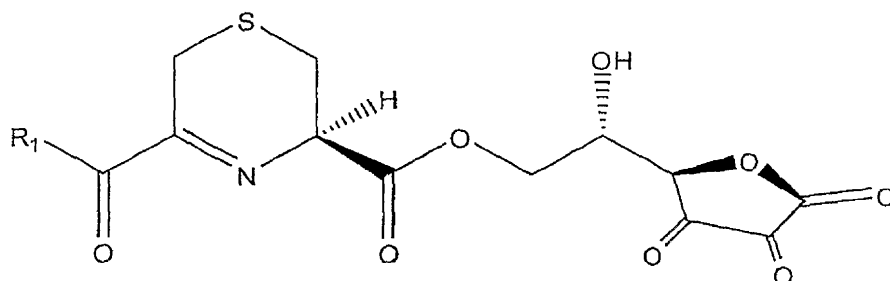
他の光学異性体を実質的に含まない下記式の化合物：



ならびにそれらの薬学的に許容される塩として更に規定される、請求項12記載の化合物。

【請求項18】

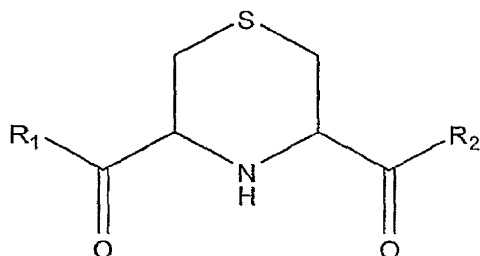
他の光学異性体を実質的に含まない下記式の化合物：



ならびにそれらの薬学的に許容される塩として更に規定される、請求項12記載の化合物。

【請求項19】

下記の構造を有する化合物、またはそれらの薬学的に許容される塩、および光学異性体：



式中、R<sub>1</sub>は、-OH、-NH<sub>2</sub>、またはC<sub>1</sub>-C<sub>10</sub>-アルコキシ、C<sub>2</sub>-C<sub>10</sub>-アルケニルオキシ、C<sub>2</sub>-C<sub>10</sub>-アルキニルオキシ、C<sub>1</sub>-C<sub>10</sub>-アリールオキシ、C<sub>2</sub>-C<sub>10</sub>-アラルコキシ、C<sub>1</sub>-C<sub>10</sub>-アシルオキシ、C<sub>1</sub>-C<sub>10</sub>-アルキルアミノ、C<sub>2</sub>-C<sub>10</sub>-アルケニルアミノ、C<sub>2</sub>-C<sub>10</sub>-アルキニルアミノ、C<sub>1</sub>-C<sub>10</sub>-アリールアミノ、C<sub>2</sub>-C<sub>10</sub>-アラルキルアミノ、もしくはC<sub>1</sub>-C<sub>10</sub>-アミドのヘテロ原子置換型もしくは非置換型であり；

R<sub>2</sub>は、-OH、またはC<sub>2</sub>-C<sub>10</sub>-アルケニルオキシ、C<sub>2</sub>-C<sub>10</sub>-アルキニルオキシ、C<sub>1</sub>-C<sub>10</sub>-アリールオキシ、C<sub>2</sub>-C<sub>10</sub>-アラルコキシ、C<sub>1</sub>-C<sub>10</sub>-アシルオキシ、C<sub>1</sub>-C<sub>10</sub>-アルキルアミノ、C<sub>2</sub>-C<sub>10</sub>-アルケニルアミノ、C<sub>2</sub>-C<sub>10</sub>-アルキニルアミノ、C<sub>1</sub>-C<sub>10</sub>-アリールアミノ、C<sub>2</sub>-C<sub>10</sub>-アラルキルアミノ、もしくはC<sub>1</sub>-C<sub>10</sub>-アミドのヘテロ原子置換型もしくは非置換型であり；

但し、R<sub>1</sub>およびR<sub>2</sub>は、両方とも-OHではないことを条件とする。

## 【請求項 20】

$R_1$  が、ヘテロ原子置換または非置換の  $C_2-C_{10}$ -アルコキシである、請求項19記載の化合物。

## 【請求項 21】

$R_1$  が、ヘテロ原子置換または非置換の  $C_2-C_{10}$ -アルケニルオキシである、請求項19記載の化合物。

## 【請求項 22】

$R_1$  が、ヘテロ原子置換または非置換の  $C_1-C_{10}$ -アリールオキシである、請求項19記載の化合物。

## 【請求項 23】

$R_2$  が、ヘテロ原子置換または非置換の  $C_1-C_{10}$ -アリールオキシである、請求項19記載の化合物。

## 【請求項 24】

$R_1$  が  $-NH_2$  である、請求項19記載の化合物。

## 【請求項 25】

$R_1$  または  $R_2$  が、ヘテロ原子置換または非置換の  $C_1-C_{10}$ -アルキルアミノである、請求項19記載の化合物。

## 【請求項 26】

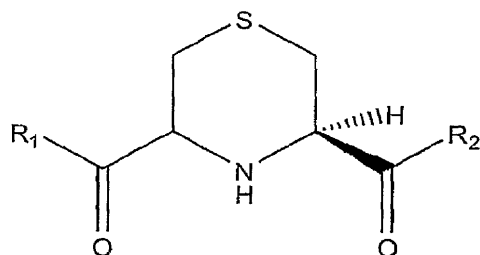
$R_1$  が、アスコルビル、デヒドロアスコルベート、グリシニル、およびセリニルからなる群より選択される、請求項19記載の化合物。

## 【請求項 27】

$R_2$  が、アスコルビル、デヒドロアスコルベート、グリシニル、およびセリニルからなる群より選択される、請求項19記載の化合物。

## 【請求項 28】

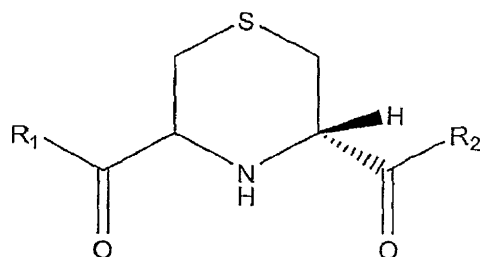
他の光学異性体を実質的に含まない下記式の化合物：



ならびにそれらの薬学的に許容される塩として更に規定される、請求項19記載の化合物。

## 【請求項 29】

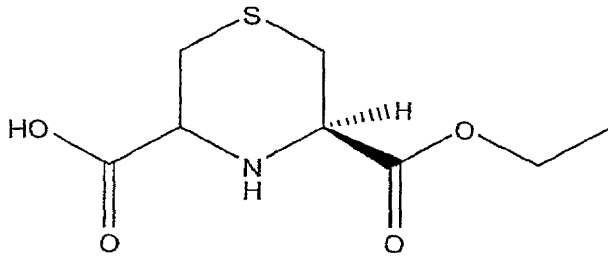
他の光学異性体を実質的に含まない下記式の化合物：



ならびにそれらの薬学的に許容される塩として更に規定される、請求項19記載の化合物。

## 【請求項 30】

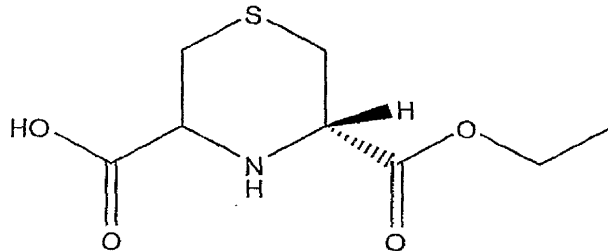
他の光学異性体を実質的に含まない下記式の化合物：



ならびにそれらの薬学的に許容される塩として更に規定される、請求項28記載の化合物。

【請求項 3 1】

他の光学異性体を実質的に含まない下記式の化合物：



ならびにそれらの薬学的に許容される塩として更に規定される、請求項29記載の化合物。

【請求項 3 2】

請求項1記載の化合物の薬理的に有効な量を含む、対象における疾患を治療するための薬剤であって、疾患が敗血症、パーキンソン病、ハンチントン病、多発性硬化症、黄斑変性、アテローム硬化症、関節リウマチ、炎症性腸疾患(IBD)、高血圧、注意力欠如障害、大うつ病、不安障害、脳卒中、脳癌、肺癌、肝臓癌、脾臓癌、腎臓癌、リンパ節癌、小腸癌、膵臓癌、結腸癌、胃癌、前立腺癌、精巣癌、卵巣癌、または食道癌である、薬剤。

【請求項 3 3】

対象が哺乳類である、請求項32記載の薬剤。

【請求項 3 4】

対象がヒトである、請求項32記載の薬剤。

【請求項 3 5】

疾患が敗血症である、請求項32記載の薬剤。

【請求項 3 6】

疾患が、パーキンソン病、ハンチントン病、多発性硬化症、黄斑変性、アテローム硬化症、関節リウマチ、または炎症性腸疾患(IBD)である、請求項32記載の薬剤。

【請求項 3 7】

前記対象が脳卒中を有する、請求項32記載の薬剤。

【請求項 3 8】

前記疾患が、脳癌、肺癌、肝臓癌、脾臓癌、腎臓癌、リンパ節癌、小腸癌、膵臓癌、結腸癌、胃癌、前立腺癌、精巣癌、卵巣癌、または食道癌である、請求項32記載の薬剤。